

特集 みんなで知ろう！

多文化共生



◎問い合わせ 企画課 企画係 ☎37-0102

～多文化共生とは～

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、
対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

日本における外国人住民の現状

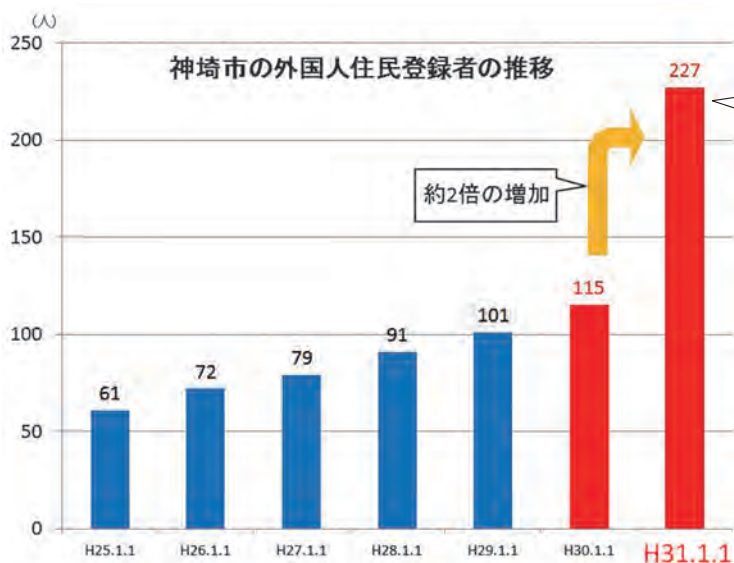
近年、全国的に少子高齢化などの影響による人手不足を補うため、外国人労働者を積極的に受け入れていく傾向にあります。平成30年12月末の在留外国人数は、273万1,093人で、前年12月末に比べ16万9,245人(6.6%)増加で、過去最高となっています。



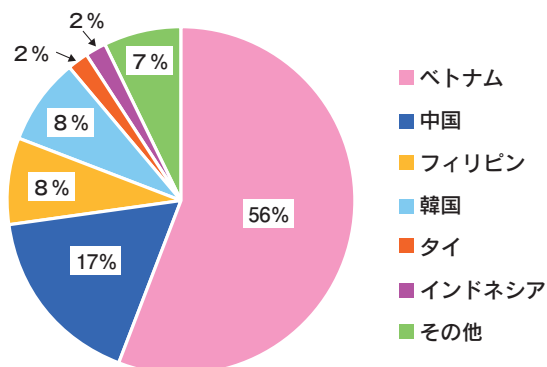
神埼市で暮らす外国人住民

市内でも技能実習生などの受け入れが増えたため外国人住民の増加傾向が見られ、昨年(平成30年1月1日時点)の市内外国人在住者115人に対して、本年(平成31年1月1日時点)の市内外国人在住者は227人となり、1年間で約2倍に増加しています。

国籍の割合はベトナム出身者が半数を超えていますが、その他にも様々な国から来日された方が在住し、日本人住民と外国人住民の皆さんが共に暮らしやすいまちを目指した取り組みが必要となっています。



神埼市の外国人住民登録者の国籍割合 (H31.1.1)





神崎市は、地域日本語教室事業に取り組んでいます！

市内の外国人在住者が、日本での生活を円滑に行うために必要な日本語コミュニケーション能力の向上を図るため、神崎市は平成31年1月に文化庁の支援事業である「地域日本語教育スタートアッププログラム」へ申請を行い、平成31年4月に正式採択されました。

このプログラムは、生活者としての外国人を対象とした日本語教室を開催するため、地方公共団体に対し、専門家を派遣することで日本語教室を支援・学習環境を整備し、日本語教育の推進を図ることを目的としています。平成31年4月～令和4年3月までの3年間を事業期間とし、今年度が1年目となります。

地域日本語教室とは？

地域日本語教室とは、外国人の方が「やさしい日本語」を使い、ゴミの出し方や自転車のマナーなどの日本の習慣を学んだり、情報交換等を行う教室です。

例えば、外国ではゴミの分別が不要な地域があります。日本人にとって当たり前でも、外国人の方には理由が理解できなかったり、難しい習慣があります。



ゴミの出し方

自転車のマナー



今後は、**市民向け多文化共生講座や教室の運営をサポートするボランティアの募集**を予定しています。市民の皆さんの積極的な参加をお待ちしています！

やさしい日本語を使ってみよう！

土足厳禁

高台に
避難する

くつ
靴を めいで
ください
たか
高い ところへ
に
逃げる



市内在住の外国出身の方にインタビュー

アマチ・イスマイルさん（トルコ出身・市内在住21年目）

Q. 日本に初めて来た時はどうでしたか？

A. 最初に住んだのは大阪でしたが、人の多さに驚きました。当時は日本語や日本の文化が分からず、大変なこともありました。

Q. 神崎市で好きな場所は？

A. 仁比山公園や仁比山神社が好きで、よく家族と出掛けます。

Q. 市民のみなさんに、一言メッセージをお願いします。

A. 住みやすい神崎市が大好きです。一緒に、仲良く暮らしていきましょう！



トルコの世界複合遺産カッパドキア